



我孫子らしい小中

—地域に学ぶ 布佐中



上野茂校長
(布佐南小学校)



杉橋朋子校長
(布佐中学校)



▲「布佐の自まんを紹介しよう」を学習中の布佐南小の児童たち

市長 全国的にも小中一貫教育に取り組んでいる学校が増えています。その背景には、少子化や核家族化の進行があります。また、地域コミュニティがやや希薄になっていることもありますが、子どもたちは地域とのつながりや地域の方々と関わる機会が少なくなっています。杉橋「ふさカリキュラム」では、学校から地域に出て

小中一貫教育を 布佐地区から発信

日本文化理解教育という部門での受賞でした。このような素晴らしい賞をいただきまして、教師たちの励みにもなります。

市長 布佐南小は、平和台地区ができて30年少しなので、市内では1番新しい学校ですが、地域としては、手賀沼干拓事業の中心的な役割を担ってきた旧井上家住宅が近くにありすね。

上野 旧井上家住宅は我孫子の歴史が読み取れる貴重な文化財です。布佐南小にも近く、ふさカリキュラム「布佐の自まんを紹介しよう」の学習で見学に行き、子どもたちが調べたことをこれからまとめようとしています。今回のように共通のカリキュラムを通じて布佐地区を学び、布佐小や布佐中と連携ができることはとてもありがたいことです。また、布佐地区の皆さんは、地域で連携する意識がとても高く、たとえば、防犯活

動では我孫子市のモデル地区として指定されています。

市長 地域防犯では、我孫子東高校も含めた「FUSA MY♡(ラブ)プロジェクト」※がありましたね。小学校から高校まで含めた連携として、とてもいい取り組みだと思います。

杉橋 「布佐4校防犯・健全育成地域会議」が中心となっていて、これまでJR布佐駅改札口や各学校であいさつ運動を行ってきました。昨年からの活動の延長で、住民の方たちと一緒に小学生から高校生までが地域の危険な場所をしるしたマップ作りに取り組みました。我孫子東高校には地域の高校として、今後も活動を通じて小・中学生を引っ張ってもらえればと思っています。

市長 同じ地域にある学校として、これからの連携を深めていってください。



▲地域のことを学ぶ布佐中の生徒

市長 おっしゃるとおり、保

上野 こうした取り組みも地域の方々の理解と協力があったからこそだと思います。小中一貫を進めることで、学校が統合されるのではないかと、いふ地域住民の皆さんのご心配もあります。

杉橋 布佐中学校には、両小学校で経験している子どもたちが入ってきます。このカリキュラムを始めてから、文章表現力や分析力、コミュニケーション力も確実に上がっています。卒業した後もお世話になった地域の方に報告に行ったり、高齢者の方々の話し相手にもなったりする生徒もいます。すばら



▲マップ作りで地域を調査する小・中・高校生たち

護者や地域の皆さんの理解と協力は不可欠です。小中一貫が学校の統廃合のため

上野 小中一貫教育を進めるにあたって、布佐小、布佐中は校舎がわりと近いですが、布佐南小は少し離れているという課題があります。連携を深めるためにも移動手段をどうするか。また、児童数の減少に伴って、職員の数も少なく

市長 確かにそうですね。学校の移動だけではなく、合

杉橋 同で林間学校に行ってみるとか。学校行事や部活などを一緒にやって、中学生が小学生に教えるとか。教師についても小学校の教師が中学生に対して授業を行う。また、その逆もある。児童や生徒同士の交流、そして教師同士の交流もとても重要です。こうした交流を通じて、いわゆる「中

これからの取り組み

に行うのではないということ、市民の皆さんにしっかりと説明していかねければならぬと思っています。

市長 布佐地区の取り組みをモデルに、ほかの地区の保護者や地域の皆さんからぜひ自分の地区でも小中一貫教育に取り組んでもらいたいという声が出るように、皆さんにはこれからも頑張ってください。これからの取り組み、子どもたちの交流、教師の交流をもっと進めてください。本日はありがとうございました。